

第 44 回沖縄県高等学校総合文祭弁論部門大会（動画審査）予選講評

沖縄県高等学校文化連盟弁論専門部
部長 本原 泉（公印省略）

予選審査担当校

- | | | | |
|--------|----------|----------|-----------|
| 【Aパート】 | ・北中城高等学校 | ・具志川高等学校 | ・美里高等学校 |
| 【Bパート】 | ・北谷高等学校 | ・普天間高等学校 | ・前原高等学校 |
| 【Cパート】 | ・球陽高等学校 | ・コザ高等学校 | ・中部商業高等学校 |

講評

【良かった点】

- ・自己の苦しかった体験を昇華して弁論できている。
- ・コロナ等の現代の社会問題についてよく考えられていた。
- ・表現はよくできていた。聞きやすかった。・強弱や間に工夫が感じられた。
- ・身近な話題から社会へ繋げていく問題意識がよい。・落ち着いて表現できていた。
- ・取り上げる問題が多岐にわたっていた。
- ・体験を踏まえての意見が多く説得力があった。
- ・コロナの影響で、通常とは違う考えができていた。
- ・時間がない中で、覚えて伝えようとしている姿勢はよかった。
- ・実体験が魅力的だった。

【改善点】

- ・自分の内面を社会と結びつけた論の展開にするともっと良かった。
- ・原稿をしっかり覚えてほしい。
- ・ジェスチャーのやり過ぎは内容が入ってこないのので気を付けた方が良い。
- ・現代の社会問題をよく考えている反面、題材に偏りがあった。（差別問題が多かった。）
- ・撮影に際し、よりすぎだと表現がよく伝わらない。（特に姿勢・態度の面。）
- ・原稿は、暗記するとよりよい弁論になる。
- ・タイトルの工夫が必要。
- ・結論を明快にするとなお良し。
- ・運営について、もう少し練習する時間が欲しかった。